

室員紹介 ～第十回 野津専門調査官～

メルマガ見て



グーテンベルク像 (ストラスブール)

- ① 出身：熊本県熊本市
- ② 趣味：自転車と jazz+酒
 - ・ 自転車：学生時代サイクリング同好会でそこら中さるいてました。
(さるく：熊本弁「散策する(≒歩く)」、『サルになる』ではない)
 - ・ Jazz：顔に似合わず聞いています。CHICKCOREA が好きです。
 - ・ 酒：何でも飲みますが、『白岳しろ』がソウルでしょうか。
- ③ 座右の銘：成せば成る

0. はじめに

本メールマガジンの編集をしています、野津隆太と申します。昨年4月より本メルマガを含め、総合交通体系の推進にかかる職務を担当しております。これまでメルマガでも紹介して参りました、総合交通体系(地域モビリティ戦略)研修や総合的交通基盤整備連絡会議、地域モビリティの知恵袋などの作成に携わっています。この紹介をご覧頂き、これら資料等を見て頂く中で、少しでも血の通った雰囲気でご覧頂けると幸いです。

1. 「くまモン」について

メールマガジン本体で紹介しました「くまモン」、ご存じの方も少しはいらっしゃるかと思いますが、よく知らない方のために、HPだけご紹介いたします。右の写真は最近遭遇した生くまモンの写メです。

今や熊本のヒーローとなっている様子で、恥ずかしながら、我が両親が東京に遊びに来たときのお土産の数々が「くまモングッズ」でした。グッズのみならず「くまモン体操」も存在します、YouTube でも沢山ヒットしますのでご興味のある方は是非どうぞ。



■くまモンオフィシャルHP <http://kumamon-official.jp/>

■ゆるキャラグランプリ2011 <http://www.yurugp.jp/>

2. 欧州視察報告の一部 ～パリ&自転車について～

メルマガ第41号より43号まで海外の自転車施策について紹介させて頂きましたが、私も現地調査をして参りました。

Velib(ペリブ)を借りて、(ペリブ及ぶフランスの自転車施策詳細は以下 URL

メルマガ第 42 号参照) パリの町の自転車走行環境の様子を感じて参りました。

(参考: <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1112jitennsha.pdf>)

- ・ ベリブのレンタル回数: 8 回 (30 分まで無料のため、30 分経過までに返却とレンタルを繰り返し)
- ・ 移動距離: 約 20 km (図: 移動実績)
- ・ 乗車時間: 約 3 時間

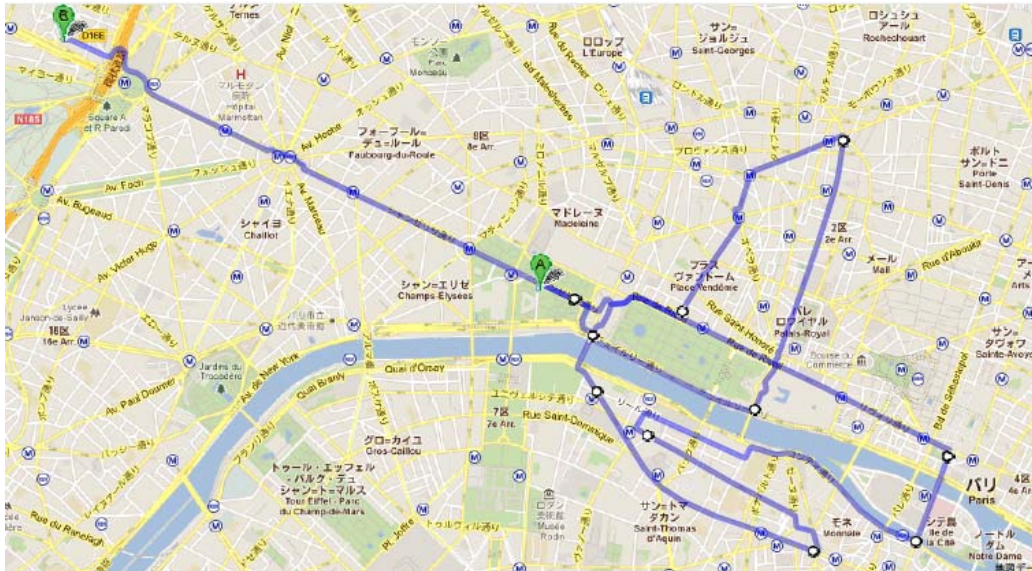


図: パリ市内ベリブ移動実績 (青のライン)

①~④の内容等について写真を交えて報告したいと思います。

① レンタルにあたり

フランス語だけでなく英語も選ぶことが出来たのですが、随分と苦戦しました。英語を話す大学生に助けってもらってようやくレンタルできました。一度覚えてしまえばたいしたことではないのですが、日本で借り方を解説している HP 等を印刷して行った方が確実です。

② 走行環境について

交通具: 一部パンクしているものやサドルがずれているもの等ありましたが、手入れも十分行き届いて、走りやすかったです。3 段の変速があり、坂道平地とも快適に走行できます。ペダルのポジションも力の入りやすい良いセッティングでした。更に、自動で車両前後にライトが点灯する仕組みとなっておりデザインのみならず安全面も配慮されていました。



ステーションの機械



ようやく Get したベリブ

交通路：車道が走るのが原則の中、シャンゼリゼ通りについては、石畳かつ交通量も多いため慣れない人が走るには難しいかもしれません。また、凱旋門のあるエトワール広場に代表される円形交差点は、かなり難しかったです。車と同じ走行を目指しましたが断念して、放射状に伸びる道路のたくさんの信号を待って通行しました。

それ以外の箇所については、私のような初めてのものでもどこを走って良いかわかるように自転車走行空間が明示されており、バスレーンと自転車走行空間が一緒であることも特段支障なく走ることが出来ました。乗降中のバスを左から（右側通行なので）追い抜くことが出来れば快適です（慣れない人はドキドキするかもしれませんが）。

その他（標識等）：ちょっとやり過ぎなほど路上に書かれているところがありましたが、おおよそ困ることはなかったです。

一方で、ベリブの料金体系が30分刻みで料金が加算（1ユーロずつ）される仕組みとなっているため、返すタイミングでステーションが埋まっていると、他の空いている場所をうろうろと探すか、誰かが借りて空くのを待つか、悩ましい状況が発生します。ルーブル美術館付近やシテ島等観光資源密集地ではステーションの空きスペースを探す「ベリブ返却難民」に何人か遭遇し、私も流浪しました。ただ、そのおかげで、麗しきパリジェンヌと「なかなか無いね、困ったね」というコミュニケーションを取ることが出来ました！！

③ **自転車利用状況について**

ベリブをパリの一般の方々が使っている場面は良く遭遇しました。30分無料との料金体系からも、地下鉄やバス停から職場近くまでなど近距離のツールとして使われている様子でした。一方で、観光客はほとんど利用していませんでした（冬でしたから、いい季節になればより利用されているそうです）。

実数もパリでの自転車分担率は3%程度、日本の諸都市の10%前後に比較すると限定的ですが、実際に利用した感想としても、日本の方がより多く使われている印象です。しかし、走行環境はパリの方が『明瞭』でした。全



曇りのシャンゼリゼ通り



随分沢山書かれています



奥に見えるのは自転車専用道

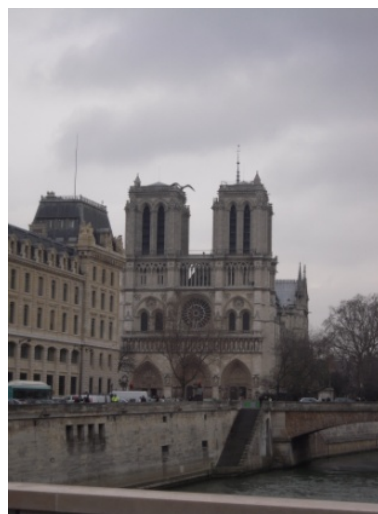
での環境が優れているわけではないでしょうが、路上へのサインはとてもわかりやすかったです。一方で、今後多くの自転車が利用されるようになると、駐輪空間の確保対策が必要と見受けられました。ストラスブールやドイツの訪問地では、より街中の駐輪空間が明確だった印象です。特にストラスブールはトラムとの連携の視点から、駐輪空間もかなり力が入っていました。ストラスブール等の詳細は後日ご報告いたします。

④ パリの街並みについて

ベリブと街並み(と言うより観光地を幾つか):冬はどんより曇っています。



ルーブル美術館 (外から見ただけ) とベリブ



ノートルダム寺院
(ベリブにまたがりながら撮影)



コンコルド広場付近から凱旋門方面
(遠一くに小さく見えるのが凱旋門)



エッフェル塔とルクソールオベリスク
(ベリブにまたがりながら撮影)



【番外】
ピーマンみたいなゴミ箱